

事業所職員向け放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 2024年 2月 29日

公表: 2024年 2月29日

事業所名 運動学習支援教室ふれんず山王教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		集団活動が行えるよう、死角のない指導員の目が届く一つの空間です。放課後デイサービスであれば40㎡以上の広さという基準以上の広さを用意しております。	
	2 職員の配置数は適切である	7		児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準に加え、加算算定要件を満たす人員配置基準を行っております。保育士、理学療法士、社会福祉士など児童・福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		床には児童が安心して過ごせるようジョイントマットを敷き詰めております。室内は視覚的に構造化を配慮した環境を設定しています。	ジョイントマット端の段差や手すりの有無はありますが、現在必要とする児童がいないため、今後必要に応じて検討整備していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		PDCAサイクルは常日頃職員一同心がけており、午前・午後、活動の事前・事後でミーティングを行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者向け評価表を用いて保護者の方の意向の把握に努めています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		今年度もホームページにて公開致します。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6		実地指導による外部評価があり、それら結果をもとにした業務改善に日々努めております。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		外部やオンラインでの研修に参加しています。職員それぞれの専門性の向上を奨励しています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		見学や体験時、又は送迎の際にニーズを把握し、行動観察を記録して支援計画を策定しています。必要に応じて利用者が発達センターや利用機関で行った検査結果をお持ちいただき、発達状況を把握しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		ミーティング等ではスタッフ1人1人が自由に意見を言い、支援の仕方や活動の進め方等共通の目標を持って取り組むことを目指しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		児童一人一人やグループの特性に合わせたプログラム内容を計画し、季節や児童の満足感・達成感に合わせて変化させています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		一人一人の計画に合わせた課題を話し合い、成長に合わせた支援を行っています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		個別の課題、集団の中での育ちを踏まえて支援計画を作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		活動の前で職員ミーティングを行います。始まる前には利用者の様子やプログラムの流れ、支援方法を確認しあい、終わった後は支援の振り返りを行い、記録します。それらを次回のステップアップや改善につなげています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		概ね6か月に1度、支援計画の見直しを行っています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7		運動や学習・遊びを通して成功体験を積み、自己肯定感を高めるようにしています。また他者と関わり、自分を表現する喜びを体験してもらいます。活動の中では自己選択する等の場面を設けながら支援しています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		開催される場合には児童発達支援管理責任者や管理者、児童指導員等の適任者が出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		行事予定等は保護者を通して情報を得ています。送迎時やトラブル発生時には学校と連絡を取り合い、調整を行っています。学校や相談支援事業所が主催の連携会議が開催される際は参加しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7			現在は医療的ケア児の方は通所しておりません。今後必要となる子どもを受け入れる場合は保護者、または主治医を通じて対応していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		都度連携を行い、過去の記録を元に情報共有に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6			まだそのような方はおりません。今後必要に応じて個人情報に留意し、対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		療育センター等専門機関の研修を必要に応じて受講し、業務に生かしております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7		事業所内保育園との合同イベントや、教室主催のイベント、また外部でのイベント参加にて、他児童と一緒に活動や交流する機会を設けております。	児童館は送迎時に個別で利用する児童もおりますが、教室として一緒に活動する機会は設けておりません。必要に応じて適宜対応していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1	開催時、必要に応じて参加しております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		日々の送迎の際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けます。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7		フィードバック時に対応の方法等のアドバイスの機会を設けております。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に説明を行っております。また随時不明な点は職員が説明するようにしています。支援の内容については支援計画の説明でお知らせしたり、支援終了後にフィードバックの時間を設けています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		利用者が活動に参加している時間や支援終了後のフィードバック時に応じております。また必要に応じて電話やメッセージでの対応もしております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			今年度保護者会の実施はありませんでしたが、フリーマーケット等の実施で保護者同士が関わる事ができる機会を設けています。保護者会実施の要望があれば、その都度検討・実施していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		苦情があった際は、管理者および担当者が対応し迅速かつ適切に対応するよう心がけています。また社内でも共有し再発防止に努めます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		活動概要や行事予定、連絡を紙媒体のみでなく、メールや教室内掲示にて発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	7		個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		伝達方法を工夫し、個人個人に合わせて伝わりやすい方法で伝えるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		フリーマーケットの主催や地域マルシェへの積極的な参加を行い、地域に親しみやすさを感じてもらえるような事業運営となるよう尽力しています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	マニュアルの策定は行っており、児童と職員で年3回程度の避難訓練を実施しております。	今後は更なる周知も兼ねて保護者も交えた避難訓練の実施を検討していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	外部の研修を受ける機会を設けています。また施設内にて虐待防止委員会を設置し、都度職員間で支援内容の確認を行っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		現在対象児童はおりません。対象児童がいる場合、施設内委員会にて検討した後、保護者への了承を得て支援計画に記載をする体制があります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	契約の際や送迎時にしっかりと保護者の方より聴取し、確認しております。食事やおやつの際はそれらに沿って提供しないようにしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	危険な事例があった場合、日々の記録に記載し、ミーティングを通して職員で共有し、再発防止に務めています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。